

第11回「CLインストラクターの会」(Zoomによる)開催される

第11回「CLインストラクターの会」が1月30日(日)午後2時～4時20分まで開催されました。主催横山彰インストラクター、Zoom担当芹澤幸彦インストラクターで出席者は9名でした。

以下は横山さんの開催報告から一部掲載。

活動報告の中から (文責は横山)

・芹澤幸彦さんの報告

「生活の発見会」で、CL実践の講演を行いました。講演後には質問が次々と寄せられ、大変好評でした。講演後のアンケートで、内観の話に感動したとの感想が多かったそうです。芹澤さんの話から森田療法と内観のスムーズな接続に「目から鱗が落ちた」感じではなかったかと私は思いました。また、講演が好評だったのは、内容にとどまらず、芹澤さんの発見会の方々への寄り添う姿勢に感動したのではないかと私は思いました。

アメリカ精神医学会の『精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-5)』には、森田療法が対象とするような神経症は、「診断分類」にはないと思うので、この方々は精神科医の診察をうけたとしたら、どのような治療を受けているのだろうか?と私は思いました。

次に、芹澤さんから、お住いのK市の広域町内会役員としての活動の取り組みについての話がありました。「コミュニティーの再生・活性化」をCLの原理を生かして具体的に実践している様子に皆さん驚嘆しました。

・吉澤 隆さんの報告

コロナに感染してお亡くなりになった方の葬儀についての話がありました。感染症患者の葬り方は、法律で感染防止の観点から細かく規定されています。そこには、身内の方々の最後のお別れをしたいという思いを遮断する規定がすでにあります。それを身内の方の思いに沿うように、大学医学部や役所とのコーディネートした詳細な報告がありました。役所は、前例踏襲です。プラスポイントを増やすのではなく、マイナスポイントを出さないことを仕事の原理としています。身内の方の思いを生かす葬儀はできません。そこで、役所の仕事の原理に沿った形での提案をコーディネートの中で生み出しました。そこに、CLの原理を生かして取り組んだという話が聞けました。他にも提案はありましたが割愛させていただきます。

ビジネスミーティング

・第12回同会日程は、2022年4月24日(日)午後2時よりZoom形式で開催予定。

懇親会は、4:30～6:00

それぞれの地域、それぞれの立場からの貴重なお話が聞けました。

3/25 千石城山からの剣岳です。
名前の通り、戦国時代には城山として呉東地区を望む適地だったようです。

いくつかそんな山があります。

東井晃一

